

ソフトボール

福智町赤池グラウンド

- 壮実年 [4位] 福智町
- 一般 [3位] 福智町(赤池)・福智町(金田)

剣道

川崎町民会館

- 個人戦一般男子の部
初段～三段 [2位] 桑野哲也
[3位] 米家英雄
- 四段・五段 [3位] 楠木沢磨



卓球

川崎町中央体育館

- 団体の部 [2位] 福智町
- 一般男子の部 [3位] 石松勇輝
- 一般女子の部 [優勝] 松尾由奈
- ベテラン男子の部
[優勝] 日高景年 [2位] 中西秋雄

ゲートボール

福智町屋内競技場

- [優勝] 福智町(赤池)

バスケットボール

福智町金田体育館

- 一般女子の部 [3位] 福智町
- 一般男子の部 [5位] 福智町

グラウンドゴルフ

糸田町町民グラウンド

- 団体の部 [優勝] 福智町
- 個人の部
[2位] 高崎広美 [4位] 石谷学 [6位] 木村美和子

第56回 田川郡民体育大会 結果

主催/田川郡社会体育振興協会

力を出し切り 各種目で躍動

「スポーツフェスタたがわ」が郡内各地で開かれ、福智勢が鍛錬の成果を発揮し各種目で活躍しました。個人やチームで、それぞれの目標に挑んだ福智のアスリート。ここで、その大会結果をお知らせします。

硬式テニス

福智町屋内競技場

- 総合の部 [優勝] 福智町
- C級男子の部
ダブルス [2位] 沼口大希・瀬戸大河
- A級女子の部
ダブルス [2位] 沼口涌子・沼口桃花
- B級女子の部
ダブルス [優勝] 甲斐由美・桑野ひさえ
[2位] 瀬戸芳美・甲斐千尋

弓道

福智町弓道場

- 総合の部 [2位] 福智町
- 一般男子の部 [2位] 福智町
- 一般女子の部 [2位] 福智町

バドミントン

香春町体育館

- 総合の部 [3位] 福智町
- 一般男子の部
シングルス [優勝] 稲垣寿一
- 一般男子の部
ダブルス [3位] 稲垣寿一・中村亮二
- 壮年男子の部
ダブルス [3位] 西村勇二・香川二郎

福智の風

▶ 上野焼という昔ながらの高級な器…というイメージが強いかもしれませんが。わたしも役場入庁前は祖父母の家の花器を想像し、手が出せないなあと思っていました。今はいろんな窯元の作品を見て、それぞれの個性を楽しみながら、自分に合う器を選ぶことができるようになりました。皆さんにはお気に入りの窯元がありますか。(日吉)

▶ 大分県の柔道の強豪校に進学し、見事全国大会への出場を決めた杉くん。柔道に限らず、福智町出身の選手の活躍にはいつも喜びとともに、自分も何か頑張らなければいけないと焦りを感じてしまいます。大勢の人が目標に向かって努力する中で、一握りの人だけが進むことができる全国の舞台。杉くんの活躍を心より応援します。(田代)



水しぶきに清涼を求めて
撮影日●昭和40年頃
撮影場所●上野 白糸の滝

岩肌を美しく流れる落差25mの「白糸の滝」。芭蕉十哲の一人に数えられる俳人・志太野坡が訪れその絶景を句に詠んだとされる名所には、今も昔も涼を求めて多くの人が訪れます。

昔の写真を探しています!
圓本庁2階広報・広聴係
☎22-7766

夕べとは祈りの時よ星涼し
捜し物見付けし気分花菖荷
喜雨のあと土の匂ひの風にか
雨戸繰る台風近き風の音
宇宙駆る七夕竹の願ひごと
合飲の花藤湯の道の花明り
青鷺の啼映して小波立つ
花合飲の峠越へれば妣の里
真青の素性よかりし今年竹
人は皆好きなき方源五郎
梅雨上り猫も安堵の顔を
見晴らしの田の草取りの女かな

馬郡 京子
熊谷カツミ
大久保幸子
日高八重子
松本みつを
山本 弘
香月 眸
小場 妙子
高津 澄子
千手 弘子
井上サワ子
福島ソマ子

高齢者大学・はな

池田一步選

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

夏草の丈より低き行者墓
白鷺の首の長さが田を見張る
夏の蝶ひかりまみれの乱舞かな
幾何学の模様駆使して蜘蛛の糸
汗だくが強さの秘訣部活生
母の日や姉妹で習ふ母の味
玄海の夏奔放に夏来たる
頬杖の杖の疲れし梅雨ごもり
跣足の子顔くしやくしやに笑ひけり
千草を毎日食べてあきる牛

松岡 蒿枝
建部三由紀
仲谷 博江
岩井 童子
西田 真美
桂 啓子
小川 雪
加藤きみ子
小野 美幸
小西田 咲笑

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

一樹より洩れる日のあり夏座敷
英彦山の山肌杉の風薫る
老鷲の鳴きて人呼ぶ如く里
溜池の芥押し退け濁り鮒
梅雨曇り墨絵ぼかしの山幾重
短夜や旅のことわり状を書く
紫陽花の大和矢田寺女傘
合飲の花揺れるるさまに妣の事
諸事諸仏感謝の日々や額の花

尾崎 和子
木村 誠一
倉石 小夜
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子
藤井耿之介
山本恵美子
渡邊 一枝

方城句会

池田一步選

湖の満ち長井の浜にキスを釣るキラリと光る朝日を受けて
電車よりふるさとの山見えてきてふっと湧きくる安堵と疲れ
庭に咲く赤きつるバラ庭照らし友の留守宅を守るがごとし
花を植え暑さに耐えて水をやる心なき人抜き持ちゆく
十葉を抜きて吊して陰干せし祖母の背の踵つ水無月の夕
とんきょうな声あげ駆けより娘いふ「狐が二匹裏庭にある」
梅雨ばれに窓を開ければ青田風よどみし空気吹き払ひたり
紫陽花の色は移りてうす紅の花の艶めき濡れて揺れるる

白石 清和
村上 美幸
福田キヨ子
越智 早苗
三村 和子
白石 信子
桑野 昭子
福田 昌

ともしび短歌会短歌詠草